

リビング・オブ・ザ・イヤーズ2014を開催



高齢者住宅経営者連絡協議会
事務局長
田村 明孝

(タムプラニング&オペレーティング
代表取締役)

高齢者住宅経営者連絡協議会(高経協)ではリビング・オブ・ザ・イヤーズを初開催する。高齢者住宅(特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養病棟・有料老人ホーム・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅・分譲型ケア付き高齢者マンション)のジャンルを問わず、入居者の目線でより住み心地の良い、より快適で安心な高齢者住宅を選定し表彰する。社会的に望ましい高齢者住宅のイメージを明らかにするとともに、入居者にとっては、選ぶ際の参考に、事業者にとっては目指すべきハード・ソフトの目標とするのがねらいだ。過去3年以内に開設した高齢者住宅がエントリーできる。高経協の田村事務局長に開催の主旨を紹介した。

共通の土俵での
公正な競争を目指す

高経協は、ジャンルの如
何に拘らず様々な種類の高
齢者住宅の経営者が会員と
なっており、高齢者住宅業界全
体の発展を目指して、高齢
者の住みやすい課題の改善
と、消費者の立場に立った
終身にわたる尊敬のある暮
らしを支える住みやすい場所
を提供することを目的とし
て、2010年4月に発定
した任意の団体で、現在51
団体の利益を確保する活動

たむら あきたか
1987年「タムラ企画」を設立、
代表に就任。
有料老人ホーム・ケア付き高齢
者住宅などの開設コンサルティ
ングを手掛け、約30棟をオー
プン。事業計画策定は500件以上
に及ぶ。一方で高齢者住宅への
入居検討者に対する相談センタ
ーを開設している。毎年北欧視
察を主宰して本年2月開催で33
回を数える。テレビ・新聞・週
刊誌等出演や取材、講演活動や
書籍の出版多数。

多様な高齢者住宅から優良事業を表彰 複雑な「住まい」の制度、統合への一歩

度上、複雑な構造になって
いるが、グループホームや
有老人ホームやサービス付き住宅な
ども含めた制度の垣根をなく
し、高齢者の介護という統
一の土俵に乗って、利用者
の適正な選択により公正
に事業者が競い合う時代を
想定して活動している。

①地域との連携を積極的に
行っている。もしくは地域
の拠点として活動している
②過去にない斬新なコンセ
プトに基づいて作られた高
齢者住宅である
③省エネ・CO₂削減・創
エネにおいて新たな試みが
なされている
④自衛・他衛を問わず、1
次審査用エントリーシート
(ホームページからダウン
ロード)に記入して、パン
フレットを添付して事務局
あてに郵送しない場合はメ
ール添付で簡単に申し込みが
できる。シート記入に際して
は、自由記入のアピールポ
イントを評価することとな
るので、応募担当者には特
に力を入れていただきたい
。エントリー受付は3月
末日まで。エントリーホ
ームは、4月にそのすべてが
公表される。

9月12日、日本教育会館
一ツ橋ホールで、ファイナ
リスト7ホールの各10分間
の公開プレゼンテーション
を行い、選考委員100名
の投票によって第1位・第
2位・第3位・特別賞など
の表彰を行い、大庭・小庭
係(03・33292・32
89)、メール info@
lokeiky.com)へ。

社が加盟してい
る。(会員企業
が占めるシェ
ア・介護付有料
26%、住宅型有
料5%、サービ
ス付き高齢者住宅(サ付き
住宅)7%、分譲型8%、
グループホーム9%、特養
住宅が社会にとって、どう
あるべきかの立ち位置を明
確にする目的で、「高齢者住
宅のあり方に関する提言」
などの社会提言を実施し、
また会員企業の品質向上の
ための研究会などを開催し
てきた。

特養や老健、介護療養型
医療施設は介護保険上は
「施設」に分類されるが、
本来は、「住まい」プラス
介護サービスであるべきで
あるというのが基本的なス
タンスだ。わが国では、制
度がある。筆者自身もデータ
提供など協力したこともあ
るが、どうもこのランキン
グは当りにならない。評価
項目の設定や配点に適正を
欠いているためだ。ホーム
の運営そのものを見ないま
まで評価しているため、実
態とランキングはかけ離れ
てしまっている。なぜこの
ホームが上位にランキング
されるのか、良いと思われ
ている点から見ても解せない
面が多い。そもそも点数評
価によるランキングはホ
ム評価にすぎない。

最終選考へ7施設
秋に公開プレゼン
テーション
エントリーした高齢者住
宅に対して、高経協役員、

福祉・健康ビジネス最前線。NAGOYAからの情報発信。
鉄道あおなみ線 名古屋駅から24分 金城3頭駅下車

おやのため、わたしのための
総合施設展&終活フェア2014
～人生のエンディングを考える～

同時開催
5/23(金) → 25(日)

出展募集中

Welfare2014
第17回 国際福祉健康産業展
ウェルフェア2014 5/23(金) → 25(日)
会場/ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)
10:00~17:00

第2回 中部ライフガードTEC2014
防災・減災・危機管理展
「防災」「減災」「BCP」をテーマに開催!
5/22(木) → 23(金)

お問い合わせ先: 名古屋国際見本市委員会事務局
URL: http://nagoya-trade-expo.jp/welfare/

TEL: (052) 735-4831 FAX: (052) 735-4836
E-mail: welfare@nagoya-trade-expo.jp